

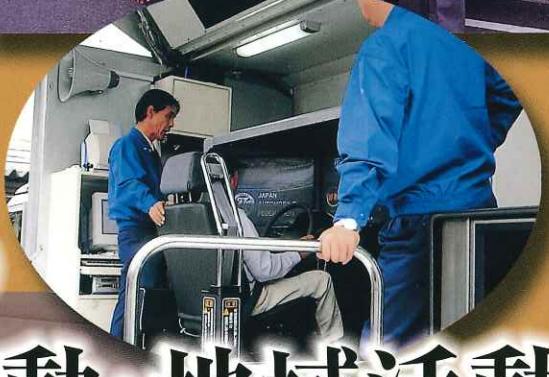
# ボランティア



# Osaka Vol.42

発行 (福)大阪府社会福祉協議会  
大阪府ボランティア・  
市民活動センター

2005 Autumn



『特集』

## 団塊の世代の ボランティア活動・地域活動



# Hello! ボランティアセンター

## 太子町社会福祉協議会 ボランティアセンター

南河内郡太子町大字春日963-1 町立総合福祉センター内  
TEL 0721-98-1311  
FAX 0721-98-2111

### 地域に根づいた確かな活動を多彩に展開

ここが大阪府内とは思えないほど、緑豊かな風景が広がる太子町。ボランティアセンターは、最近開通した南阪奈道の太子インターチェンジからすぐの町立総合福祉センターにあり、車だと大阪市内からでも30~40分です。人口は1万数千ですが、13のボランティアグループが連絡会をつくり、高齢者、障害者、子育て支援などをはじめとした多彩な活動が展開されています。昨年より生きがい支援事業対象者のための食にかかわる調理ボランティア“ミールズ”も新しく発足しました。

「福祉センターの2階で週4回、生きがい支援事業として高齢者のためのサロンを開いています。ミールズは、ここに参加される方々に手づくりの暖かいお弁当を提供する調理ボランティアです。週に一回程度の割合ですが、地域で採れた食材を使った安くておいしいお弁当はなかなか好評ですよ」と社協職員の竹田英明さん。いかにも頼りがいのありそうな恰幅のいいスポーツマンです。



ふれあい広場

その他、介護用品づくり、お手玉づくり、生け花、サロンの喫茶運営、手話サークルなどが活動しています。こうしたグループも参加して、毎年4月に社協では「ふれあい広場」が開催されます。毎回、

楽しい模擬店もいろいろあって子どもからお年寄りまで、たくさんの参加者でぎわいます。「人口が少ないぶん、まとまりがあるのが太子町の特長かもしれません」と竹田さん。

地域の20か所で開かれている「いきいきサロン」も太子町自慢のプログラムです。これも多くのボランティアがサポートしますが、こうした活動を通じて、キメ細かな地域づくりが着実に進められているようです。また、ボランティアセンター運営委員会主催で年に2~3回開催されるフリーマーケットもあって、このときも「ふれあいリサイクルボランティア」が活躍。

現在、連絡会参加の13団体の代表者のほとんどが女性ですが、「今後は企業を退職する団塊の世代の男性にも参加してもらえるよう、いろんな仕掛けを考えていきたい」と竹田さんは抱負を語ってくれました。



ふれあい広場

## 大東市社会福祉協議会 ボランティアセンター

大東市新町13-13 大東市立総合福祉センター内  
TEL 072-874-1082  
FAX 072-874-1828

### 「606会」を中心に、ユニークなグループも

現在15の登録団体と34人の個人登録ボランティアを組織している大東市ボランティアセンター。なかでも以前本誌でも紹介した606会の活動が活発で、高齢者や障害者サポートを中心に多彩な活動に取り組んでいます。

606会は昭和60年に6人の主婦でスタートしたのが名前の由来。今では活動の幅も広がり、送迎介護の「よろそい」、入浴介護の「しゃぼん」、リハビリ介護の「なかま」、難病介護の「ふれあい」、そして在宅介護の「ほっと」…の5グループに分かれ「大東市に606会あり」と言われるほど充実した活動を展開しています。2000年4月の介護保険スタート前後は「利用者が減るのでは…」と危惧されていたものの、制度から漏れた人たちへのキメ細かな対応で「現在多くのお年寄り、障害のある方々に喜んでいただいている」と大東市社協の村尾空見子さん。

加えて、手話・音訳・点訳・要約筆記・パソコンボランティアなどのグループが活発に活動していますが、ユニークなところでは外国人のための日本語ボランティア「パステル」があります。市内在住外国人

人に日本語と日本の生活習慣などをマンツーマンで教えており、大阪産業大学に通う留学生や市内の三洋電機で働く在日外国人の人たちに好評のようです。



「介護者家族の会」へ非行に走る子どもや不登校児の復学、進学、自立を支援するボランティア「わんど塾」も特色ある活動を展開しています。市内在住の山藤忠雄さん、正代さんご夫妻が自宅を開放して取り組んでいるもので、多いときには15人ほどの中学生が集まり食事をしたりします。魚釣り大会やボウリング大会なども開いて“塾生”同士の交流も図られています。「市の広報でも紹介されました」と村尾さん。

これら15団体に加え約30人の個人登録ボランティアの皆さんにはマジックや漫談などの特技でフェスティバルなどの催しを楽しく盛り上げてくれるとか。市民の自発性が十二分に活かされているボランティアセンターと言えそうです。

# 団塊の世代の ボランティア活動・地域活動

「2007年問題」と言われるよう、昭和22年生まれの団塊の世代のトップバッターがいよいよ、2年先には大量に企業社会を「卒業」します。

ボランティアの世界でも、大量のアクティブシニアの地域社会への登場を控え、この世代の人たちを「いかに地域活動に誘うか」についてさまざま議論が始まっているようです。

そこで今回は、「団塊の世代のボランティア活動・地域活動」をテーマに座談会を開きました。司会を含め、参加者の中心はこの世代。そこにボランティア・地域活動の先輩として大阪府市町村ボランティア連絡会会長の山本啓二さんに加わっていただき、それぞれの素直な意見を語っていただきました。

## 座談会

# ボランティア活動・地域活動における 団塊の世代の可能性を探る



### ◆参加者 移送サービス

守口市ボランティアグループ「ハート」  
**奥山 寿一さん**

大阪ガス(株)総務部 いきいき市民推進室  
**池田 収一さん**

大阪府市町村ボランティア連絡会 会長  
**山本 啓二さん**

大阪府社会福祉協議会 事務局長  
**佐藤 貞良**

### ◆司会 大阪府社会福祉協議会 地域福祉部長

大阪府ボランティア・市民活動センター 所長  
**山田 早苗**

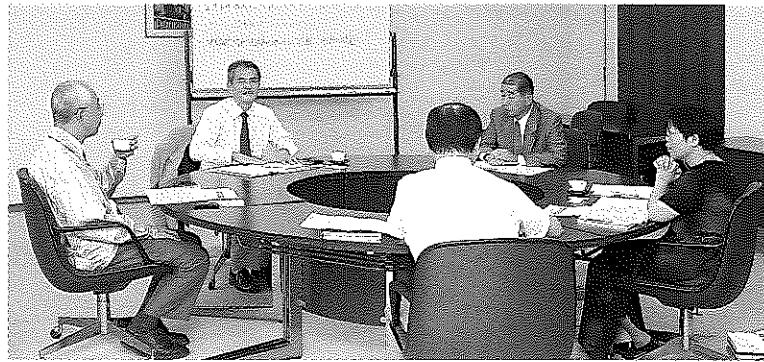
2007年は  
「チャンス到来の刻」  
である!!

**山田** 団塊の世代とは、堺屋太一さんの命名によるもので一般に昭和22年から24年に生まれた世代とされています。いわゆる「戦後のベビーブーム」のときに生まれた人たちですが、この世代だけで約700万人近い。これに前後1年づつ加えるだけで1千万人を突破します。とにかく「とてもないボリュームゾーン」であるわけですが、この世代がまたもなく、定年の60歳を迎えます。

私自身もこの世代なんですが、思えば、常に競争社会を生きてきた気がします。この世代は入学難に始まり、成人してからは就職難に結婚難。就職してからもポスト難(昇進難)。将来、要介護になつたときは、特養などへの入所難も目に見えていきます。今や人口の5人に1人が65歳以上となりましたが、これに団塊の世代が大量に加わればかつてない高齢社会になつてきます。

しかし皆がいきなり要介護状態になるわけではなく、見方を変えれば、元気なシニアが大量に地域社会に登場することもあるわけです。このように考えれば、地域福祉の充実という観点からは、大きなチャンス到来と言えなくありません。またそうしなければならないと思うのですが、本日の座談会は、そんな観点からも進めていきたいと存じます。そこでまず、皆さんから簡単な自己紹介とボランティア活動との関わりといったあたりか

# 特集 団塊の世代のボランティア活動・地域活動



お話をお願ひします。

**奥山** 私は山田さんより一つ上の生まれなんですが、現在、自営業（印刷会社）を営みながら地元の守口市で、高齢者や障害者をはじめとした移動困難な方たちをサポートする移送サービスボランティア活動に関わっています。

7年前に、勤めていた印刷会社を辞めて独立しましたが、前後して両親が入退院をくり返すようになりました。自営業ですから、比較的時間のやりくりはできます。仕事をしながら親を見てきましたが、母に続き、90歳を過ぎて父親も亡くなりました。

生前、介護保険の制度はもちろん、地域の福祉サービスには本当にお世話になりました。そこで両親が亡くなつてから、地域への恩返しのつもりで現在のボランティア活動を始めるようになりました。私としては、親を見ていた時間をボランティア活動に当てるだけなので、負担に感じることはありませんでした。以前から町内会の役員や公民館の運営委員、また青少年育成の指導員などもやつていたので、スムーズに活動に入つていきました。ただ、私たちの世代の大半はまだ現役ですから、属するボランティアグループのメンバーのほとんどは現役を退職された方たちで、私のような世代は少ないです。

**山田** おっしゃるように、ボランティアの世界では現役サラリーマンの方たちはまだ

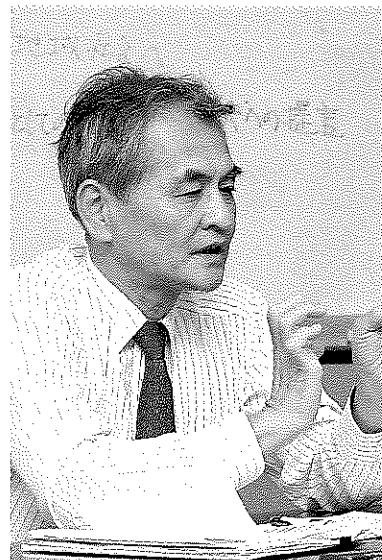
まだ少ないようですね。しかし近年は、企業が社員に対して地域活動やボランティア活動を積極的に推奨するような動きもみられます。池田さんは、会社でまさにそのような立場で仕事をされているわけですが。

## これまでの サラリーマンOBとは 違う可能性

**池田** 私のいる「いきいき市民推進室」は

1991年に「会社人間から社会人間へ」というスローガンを掲げてスタートした部署で、仕事も大事だけれど同時に「いきいきとした市民」であることも大切なことを考え方から、社員の地域活動やボランティアなどさまざまな社会活動を支援していました。

実は当社では、それ以前より「小さな灯運動」という社員ボランティア活動が活発に行われていました。これは文字通り「社会に小さな灯をともしていこう」というもので、ボランティア活動の土壤をそれなりに培つきましたが、その裾野をもつと広げようとボランティア休業・休暇制度やコミュニケーション制度を設け、推進してきました。10年余りの活動で社内風土も変わり、社員の自主的な社会活動参加もほぼ定着してきたため現在は社員啓発から会社にとつての地域社会支援へと活動の重点を移しています。



池田 収一さん





佐藤 貞良



これまで企業社会が大きく成長するなかで、サラリーマンにとつて居住する地域社会は「寝に帰るところ」でしかなかった。そして当社に限らず、多くの企業の社員ボランティア支援には、そのことについての反省もあるように思います。そこで、操業地だけでなく社員が居住する地域社会も含めて、コミュニケーションをもつと大切にしようと機運が企業では高まっています。

いわゆる「社員丸が見え経営」がいろんな意味で反省されているわけですが、最近では企業と社員の関係も変わってきていました。そうした企業の変化を経験しているという意味からも、これから企業社会を卒業していく団塊の世代には、これまでのサラリーマンOBとは違うアクティビシニアになつていく可能性があるようにも思いますがね。

**佐藤** 同様のことは私も感じます。私自身、あと1年半で退職するわけですが、今まで組織で生きてきた分、老後は自分自身のために…という意識が、団塊の世代はそれまでの世代以上に強いのではないかと思うんです。さらに言えば、これは幻想かもしれないが、山田さんが言つたように競争社会を生き抜いてきただけに、どこかに隠されたパワーを秘めているような気もします(笑)。

いま、居住する地域で10数名が集まって「福祉を考えるつどい」というのを始めていますが、この「つどい」は、自治会が会員に呼びかけて、福祉に関心を持つ人たちが

集まつてできたものなのです。地縁型組織である自治会がアソシエーション型のサブ組織を作つたわけで、そういう方向が強まれば地域社会の再生に大きな意義をもつてくると思っています。そういうことで私の場合、退職後の地域の受皿がもうできています。

### 求められる、 ボランティアの 「新しいスタイル」

集まつてできたものなのです。地縁型組織である自治会がアソシエーション型のサブ組織を作つたわけで、そういう方向が強まれば地域社会の再生に大きな意義をもつてくると思っています。そういうことで私の場合、退職後の地域の受皿がもうできています。

**山田** さて、山本さんは私たちの世代の大先輩になるわけですが、ご自身の活動および団塊の世代へのアドバイスなどがあればお願いします。

**山本** 私は自己紹介をするとき、「無職」とは言わないんです。誇りをもつて「年金生活者」と言つていい(笑)。フランスあたりでは年金生活者というのは尊敬される称号なんだそうですが。それはともかく、いろんな意味で、いまボランティアは曲がり角に来ているように思つんです。「無償の奉仕」といったイメージのものだけでなく、今ではいろんなタイプの活動が取り組まれていますね。

私自身はいま八尾市で、守口の奥山さんと同じように移送サービスに取り組んでいますが、始めるときは結構わがままも言つたものです。車はオートマでないとイヤだとか、少々は車に傷もつけるよ…とか(笑)。知り合いからの誘いがきっかけですが、で



山本 啓二さん





奥山 寿一さん



も始めてみると、これが実際にやりがいのある楽しい活動なんですね。

八尾の移送サービスの利用者は、いま年間延べで約1400名。通院利用だけでなく買い物や花見などのレジャーもOK。年末に黒門市場への買い物に付き添うこともあります。利用料は一回往復で千円ですが、ボランティアは無報酬。もちろん利用者は喜んでくださって、ご自宅にお送りしたときには「ありがとう」と言つてくださいま

す。これが私たちの活動の源になるんですが、これはボランティアに携わっているほとんどの方の共通したものだと思います。無償活動ならではの喜びであり、やりがいですね。

しかしこうした活動に、団塊の世代の皆さんを積極的にお誘いでくるかというと、いささか躊躇しないわけではありません。どういうことかと言うと、年金の問題です。

私たちの場合は60歳から年金は支給されていますが、団塊の世代の皆さんの場合には、昭和22年生まれの方で全額支給は64歳から。ならば60歳からの4年間はどうするの…といふことです。このあたりは少しシビアに考えておく必要がありそうです。

奥山 同じことは私も考えていて、利用者に「感謝される」ということ、「いささかの収入」…この両方が伴わないと、やみくもには（ボランティアを）勧めにくい、という感じもします。そんな意味からもボラ

ンティア切符など、ポイント制のような制度がもつと積極的に考えられてもいいかも知れません。

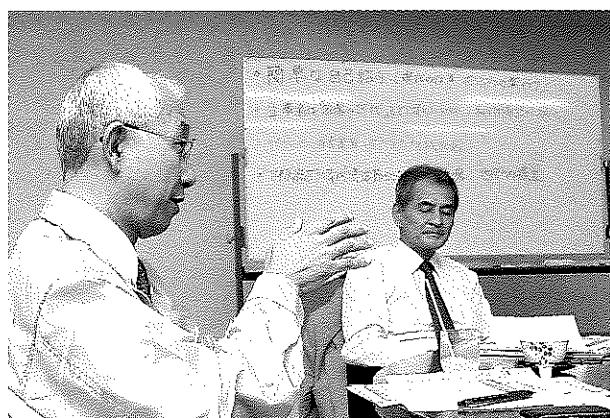
佐藤 さきほど紹介した「つどい」では地域通貨の取り組みを試行していますが、その狙いは「収入」より「遠慮しない関係づくり」です。ともあれ「新しいスタイル」が今後ますます求められていくだろうとは思います。そして団塊の世代は、これに応えていかなければなりません。

先の発言とも重なりますが、戦後の民主教育を受け、自治の精神も身につけた団塊の世代は、十分この期待に応えていくのではないかと私は思うんです。もし、自分が住む地域社会の居心地が悪かつたら、居心地をよくするために「いま、そこには」メニューを作りだしていく積極性がこの世代にはあるような気がします。

言葉を変えれば、「やりたいこと」を実際に「やる」というアクティビティ。人によつては、特養などの施設にこの世代が入所するようになれば、「自治会ができるかも」という人もいるほどです（笑）。

地域社会は、  
いろんな世代が集まつてこそ  
豊かになる

山田 団塊の世代が期待されるパワーを地域で發揮する、そのための環境づくりが私



## 山田 早苗



ども社協には求められるわけですが、これについてもご意見をいただきながら、もう少し議論を深めていきたいと思います。

**池田** 不勉強で、かつては社協と聞けば「社共（社会党と共産党）」のことかと思つていた（笑）。でも先ほど述べたように、地域コミュニティの重要性については、いまや社会全体が認識していると思うんです。

それだけに、その中核となる社協への期待も大きい。以前、社員向けの小冊子を作つたとき、近畿の主だつた社会福祉協議会について紹介させていただきましたが、信頼性という点では、社協のそれは大きい。

**山本** 私も以前は社協のことを知りませんでした（笑）。地域が見直されなければならぬのは当然ですが、私はもっと小さなところ、まず自分の足元から…と言つて向こう三軒両隣のご家族の皆さんをフルネームで覚えましょう…といふことも言つていますが、名字だけなら表札をみればわかります。そうではなく、一軒一軒のご家族の名前まで覚えることで、本当のお付き合いが始まる。ご近所のお年寄りのお名前も子どもさんの名前も、まず覚えることですよ。

**山田** そうですね。地域社会は、いろんな世代が集まつてこそ豊かになります。そうした異世代交流の中核を団塊の世代が担うようになるのかもしれません。いずれにせよ、2007年を機に、団塊の世代の「数」と「時間」と「知恵」を社会がどう活用していくかは社会全体の課題ですね。

**奥山** ボランタリーな意識は多くの人が持つていると思うんです。しかしいざとなると、何から始めればいいのかわからない。

池田さんの会社のいろんな取り組みもそうでしょうが、大切なのは「きっかけづくり」だと思います。そのためにも社協の役割は大きい。とりわけ市町村社協の役割は大きいと思いますね。

それはともかく、戦後生まれの団塊の世代は、親の世代の「節約する心」を持ってゐるし、高度成長期を生きてきたわけだから「消費の喜び」も知つていて。そして少し上の世代と比べれば「パソコン」も扱える。これはやはり大きな武器で、世代の可能性という点でいうと、先輩世代に比べればより大きなものがあるのかもしれません。

**池田** 堀屋太一さんだつたかが、地縁・血縁に加えて「好縁」ということを言つています。趣味のつながりとでも言うべきものですが、私たちの世代は、この「好縁」を数多く作つていくような気がします。これを通して地域と同時に、地域を越えたネットワークが今後は数多くつくられていくと思います。

**山田** なるほど。時間も迫つてまいりました。皆さんからの貴重なご意見を今後の私どもの活動・事業に反映させていきたいと存じます。本日はご多忙の中、ありがとうございました。



ボランティア活動を通じて地域社会に参画

## 池田サラリーマンOB会



植樹祭

「**仕事一辺倒で、居住する地域は  
「裏に帰るところ」でしかない会社**  
人間が少なくありません。そんな  
中、退職したサラリーマンが自分  
たちの住む地域社会で、ボランティ  
アをはじめとしたさまざまな領域  
活動に取り組もうと発足したのが  
が「池田ヤマコーマンロビ会」。こ  
こでは団塊の世代の先輩たちの  
素敵な活動をご紹介しましょう。

まちづくりや環境つくりで  
「第2の人生」を有意義に

まちづくりや環境つくりで  
「第2の人生」を有意義に

池田サラリーマンOB会の設立は平成7年。現代表の西村隆さん（55歳）の呼びかけがきっかけでした。「私たちサラリーマンOBが、第2の人生を送るのは言つまでもなく地



工作部会

形でおこなうもので、コスマス祭りやスポーツイベントなどに協力しています。③の特定事業には「花壇部会」「工作部会」「パソコン部会」の3つがあり、小学校や幼稚園などで花壇づくりや日曜大工、また子どもや市民のパソコン指導にあたっていますが、以上の①～③で、昨年度は167回も実施しました。

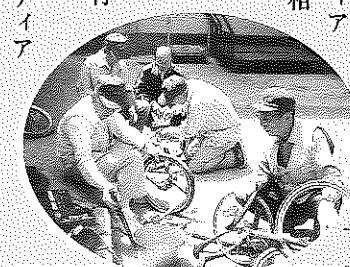
【自分たちが楽しむこと】  
大きな目的

加えて、自主運営の各種クラブ活動も盛んです。料理教室、カラオケ、ゴルフ、ハイキング、トスボールなどの同好会があり、こちらは会員が奥様づれで参加される場合も少なく

ないとか。「会員はどうしても男性が多いので、会員の奥様方には準会員として参加いただいています。この会はボランティア活動だけでなく、会員相

互の親睦を深めて『自分

たちが樂したこと』も大きな目的。ハイキン  
グなどは特に『夫婦づれ  
が多いようです』と西村  
さん。



輪壇修習



トスボー!!

トヨタボーナス会員による車の修理活動の一場面。



7月9日に吹田市で行われた北摂ブロック連絡会は、ランチタイム交流会から始まり、全体会議では各市から主催者側の主旨に沿った発表が行われ、スキルアップのため的人的・技術の交流や、活動の活性化につながる話題が熱心に討論された。そこでは少子高齢化社会のなかで、時代とともに高まり多様化している需要には、ボランティアの育成、グループ間の交流・情報交換、活動内



## ボランティア活動とそれを取り巻く課題

—高槻市—

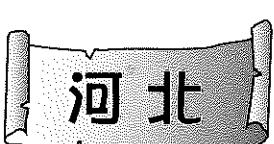


容の見直し、加えて災害問題等、改めてボランティアの必要性、地域隣人の連携をいかに醸成していくかが、今後の課題ではないだろうか、という意見が出された。

また高槻市においては7月27日（火）、高槻市現代劇場中ホールで、600人の聴衆を

集め、朗読奉仕光グループの発足40周年記念講演会が開催された。作家の童門冬二氏は「いま、日本に求められるもの　歴史から学ぶ人間関係」のテーマで、「日本人は自分本位ではなく、他人のために思い遣るという

心を持ち続けてきた」と話され、会場は障害者や一般市民、ボランティアグループ、他市からも朗読ボランティアの仲間たちも参加して、ボランティアを取り巻く暖かい風に満ちていた。



## 活動広がるボランティアグループ連絡会

—枚方市—



枚方市ボランティアグループ連絡会には現在、53グループが加入しています。

各グループの活動内容は多岐にわたり、在宅・施設訪問、手話・点字・朗読や昔遊び伝承、マジック、福祉体験学習などさまざまです。

また、同連絡会の存在は、枚方市ボランティアセンターにとって、欠かせない存在となっています。

同センターにはアドバイザー（ボランティア経験者）が交代で常駐していますが、連絡会加入のグループからも数人が、アドバイザーとして、センターで活躍しており、ボランティア活動したいと相談に来る人たちの対応にあたっています。

八尾市ボランティア連絡会は現在21登録グループが加入しています。(今年9月末現在のボランティア登録者数はグループ全体として1595名個人としては245名)

最近の課題としては、ここ数年の福祉施設の増設などに伴い「ボランティア派遣依頼」の急増に追いつけない状況にあります。またボランテ

イア活動が進むにつれて「ボランティアの知識をもっと深く学びたい」という声も多くでてきてています。

こういった中で連絡会としては平成17年度も八尾市ボランティアセンターで順次実施される「ボランティア入門講座(4日間)」をはじめとした「パネルシアター講座(3日間)」「マジック指導者養成講座(2日間)」



## 各種講座を通じて広がる ボランティアの輪

—八尾市—



## 視覚障害児へのささやかな プレゼント『拡大教科書』

—貝塚市—

そもそもグループ誕生のきっかけは、市の小学校に在籍する弱視児童の拡大教科書づくりをしていたグループの方が、その児童が小学生から中学生になると当然、中学校の教科書が必要となり、その作業が複雑で困難となる可能性が高くなります。

私たちの最初の仕事は、中一数学の拡大写本でした。パソコンによる入力ですが、弱視児童の実態がわからなくては作業に入ることはできま

また、同センターが5月から、総合福祉社会館4階から1階に移転し、市民との距離もますます近づき、各団体との連携や相談・情報提供する機会が増えています。

同連絡会では、今年も枚方地区募金運動に協力し、10月1日・3日には京阪枚方市駅前周辺で街頭募金を実施しました。

磯辺久江連絡会代表は「連絡会がボランティアセンターの核となり、今後も社協と連携してボランティア活動の推進をしていきたいです」と話していました。



「精神保健福祉ボランティア講座(7日間)」などに協力をしています。

そして毎年、延べ参加者数約百名にのぼる受講者の中から多くのボランティアが巣立っています。

今後ともより多くの施設や団体のボランティア依頼に応えていけるようボランティアセンターと協力しながら取り組みを進めたいと思います。



せん。そこで、本人と会ってどの程度の大きさの文字が見え、読めるか。写真やイラスト、挿絵の見え具合と色調はどうか。などの聞き取りで状態の把握に努めました。

メンバーには、パソコンのペテランの方もいますが、大部分は何とか文章が打てる程度の人の方もいます。たから、実際の教科書の複雑さを知つて、果たしてで生きるのだろうかと不安の連続です。約半年を費やして原本1冊が7分冊の拡大本として完成したときの喜びと感激はひとしおでした。

今私たちにできることは、1教科だけの拡大写本でしかありません。しかし、弱視児童には全教科の拡大教科書が必要なのです。大部分の教科書は他のグループさんの力に頼っています。メンバーは自分の勉強、知識の向上のためにがんばっていますが、写

せん。そこで、本人と会ってどの程度の大きさの文字が見え、読めるか。写真やイラスト、挿絵の見え具合と色調はどうか。などの聞き取りで状態の把握に努めました。

メンバーには、パソコンのペテランの方もいますが、大部分は何とか文章が打てる程度の人の方もいます。たから、実際の教科書の複雑さを知つて、果たしてで生きるのだろうかと不安の連続です。約半年を費やして原本1冊が7分冊の拡大本として完成したときの喜びと感激はひとしおでした。



メンバーは17名。若いも若きも、パートのひと、年金生活者、それに専業主婦の人といろんな人の集まりです。「ああじゃない」「こうじゃない」と言いつつも、楽しみながら長く続けられる会にするのが目標のひとつでもあります。

アイコム貝塚 代表幹事  
新谷 洋二 約

本作業をする中で「弱視のこと」「拡大写本のこと」を広く地域の人たちに知つてもらうことも課題であると思ひます。

**全国ボランティアフェスティバル  
火の国くまもと**

## 第14回 全国ボランティアフェスティバル **火の国くまもと**

平成17年10月29日(土)・30日(日)

**燃えよボランティア  
火の国の集い  
熱か心わがまちに**

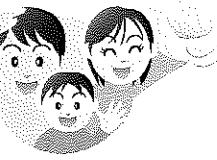
### 問合せ

全国ボランティアフェスティバル  
実行委員会事務局（熊本県社会福祉協議会内）

TEL 096-324-5456

FAX 096-324-5427

# 大阪府内における 平成17年度 ボランティアフェスティバル等の 開催状況 (既開催含む／大阪市内はのぞく)



社 协	名 称	主 催	開催予定
堺市社会福祉協議会 ボランティア情報センター	第53回 堺市社会福祉大会 さかいボランティア・市民活動フェスティバル	堺市社協	10/22
豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター	第13回 豊中ボランティアフェスティバル	豊中市社協・ 豊中市社協V団体連絡会	H18年2/5
吹田市ボランティアセンター	第7回 吹田ボランティアフェスティバル	VF実行委員会	5/22
高槻市ボランティア・ 市民活動センター	"05 たかつきボランティア・ 市民活動フェスティバル	高槻市VC・V連絡会	8/4
貝塚市社会福祉協議会 ボランティアセンター	第7回 ボランティアフェスティバル in 貝塚	貝塚市社協・Vセンター	H18年2月
守口市社会福祉協議会 ボランティアセンター	第12回 守口市社会福祉協議会 ボランティアフェスティバル	守口市社協・V連絡会	7/17
枚方市ボランティアセンター	第8回 ラポールふくしフェスティバル	枚方市社協・枚方市・松下	H18年3/11
茨木市ボランティアセンター	みんな集まれ!!ボランティア in いばらき	ボランティアの集い実行委員会	4/29
松原市社会福祉協議会 まつばらボランティアセンター	松原市ボランティア集会	ボランティア連絡会	11/27
大東市社会福祉協議会 ボランティアセンター	大東市民活動まつり	大東市(社協は参加)	9/18
和泉市社会福祉協議会 和泉ボランティア市民プラザ 「アイ・あいロビー」	第7回 和泉ボランティアフェスティバル	アイ・あいロビー	11/19
箕面市社会福祉協議会 ボランティアセンター	第8回 広がれ!ボランティアの輪 in みのおフェスティーキー祭り	VF実行委員会・ 箕面市社協	11/5
柏原市ボランティア・ 市民活動センター	ボランティア展	ボランティア連絡会	9/3
門真市ボランティアセンター	第3回「環境を考える」 ボランティアフェスティバル	V連絡会・ リサイクル活動機構かどま・ 門真市環境整備部・ 門真市社協	11/20
藤井寺市社会福祉協議会 ボランティアセンター	健康・ふくしまつり	行政・社協・各団体の 実行委員	11/6
東大阪市社会福祉協議会 市民福祉活動センター	第24回 東大阪ふれあい広場	東大阪市社協・V連絡会・ VF実行委員会	10/30
交野市ボランティアセンター	ボランティアまつり	V連絡会(Vまつり という名称で)	7/24
阪南市ボランティアセンター	第2回 ボランティア・市民活動フェスティバル in はんなん 2005	VF実行委員会	H18年3/12
島本町ボランティアセンター	第22回 島本町福祉大会	島本町・島本町社協	9/18
豊能町ボランティアセンター	ふれあいのつどい	社協・民協・V連絡会	10/22
能勢町ボランティアセンター	第8回 能勢ふれあいフェスタ	第8回能勢ふれあい フェスタ実行委員会	11/6
田尻町ボランティアセンター	田尻ふれ愛センターまつり	田尻ふれ愛センター まつり実行委員会	10/16
河南町ボランティアセンター	2005 河南町ボランティアフェスティバル	ボランティア連絡会	11/19

\*本一覧は17年度の開催状況です。隔年開催など市町村によれば一定期間をあけて開催している場合もございます。  
詳しくは各市町村社会福祉協議会へお問い合わせ下さい。

## 情報コーナー

### 箕面市

#### 広がれ！ボランティアの輪 inみのおフェスタ

日 時 11月5日（土）午前10時～午後3時

場 所 みのお市民活動センター・かやの広場

内 容 和太鼓、楽器の演奏などのステージ、さわる絵本・手話・車いすなどの体験、ボランティア団体の活動紹介、フリーマーケット、屋台など

問合せ 箕面市社会福祉協議会  
TEL 0722（749）1535

**能勢町**

第8回能勢ふれあいフェスタ  
「みんなで支えあう町づくり」

日 時 11月6日（日）午前10時～午後4時

場 所 能勢町立ふれあいセンター

内 容 講演会、各種団体のパネル・作品展示、介護教室、人形劇、模擬店など

問合せ 能勢町社会福祉協議会  
TEL 072（734）0770

### 河南町ボランティアフェスティバル

問合せ 摺店など  
TEL 0729（388）8220

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 河南町保健福祉センター（かなんびあ）2階

内 容 ボランティア活動パネル展・高齢者疑似体験・点字パソコン体験・喫茶コーナー・販売コーナーほか

問合せ 河南町社会福祉協議会  
TEL 0722（933）6299

### 精神保健福祉ボランティア養成講座 【変わろう自分、変えよう地域】

問合せ 門真市  
TEL 06（6902）6453

日 時 10月28日（金）午後1時～午後4時

場 所 工コールいすみ・イベント広場（泉北鉄道・和泉中央駅）

内 容 「踏みだし、見えてきたもの」  
講師 孫崎富美子氏（地域の茶の間「和」）  
「精神の病とは」 講師 林成賢氏（医師）  
「精神保健ボランティアとは」  
講師 佐久間陽子氏（大阪ボランティア協会）  
「ボランティアアグリーブ紹介」  
さくら草の会・藤井寺パンジーの会

問合せ 和泉市社会福祉協議会  
TEL 07225（57）0294

### 模擬産施設「フレンドハウス」 「まつしの」、グレープミーティング、修了式

問合せ 松原市  
TEL 0729（334）8008

日 時 11月27日（日）午前9時30分～午後1時30分

場 所 松原図書館2階集会室

内 容 大阪ボランティア協会事務局長・早瀬昇氏による講演「福祉マインドのあふれた町づくり」、グループワーク

問合せ 松原高校・山田正人  
TEL 072（334）8008

### 早瀬さんの話を聞いてみーひん会 【ボランティア活動をもっと活発に】

問合せ 松原市  
TEL 0729（30）0733

日 時 11月27日（日）午前9時30分～午後1時30分

場 所 松原図書館2階集会室

内 容 大阪ボランティア協会事務局長・早瀬昇氏による講演「福祉マインドのあふれた町づくり」、グループワーク

問合せ 松原高校・山田正人  
TEL 072（334）8008

### 箕面市

問合せ 河南町  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月5日（土）午前10時～午後3時

場 所 みのお市民活動センター・かやの広場

内 容 和太鼓、楽器の演奏などのステージ、さわる絵本・手話・車いすなどの体験、ボランティア団体の活動紹介、フリーマーケット、屋台など

問合せ 箕面市社会福祉協議会  
TEL 0722（749）1535

### 藤井寺市

問合せ 藤井寺市  
TEL 06（6441）0894（担当）

日 時 11月6日（日）午前10時～午後3時

場 所 パーフルホール、ふれあいセンター（福祉会館）

内 容 「健康まつり」健康相談、骨密度測定、体脂肪測定、歯科検診など  
「ふくしまつり」ボランティアグループの発表、点字・手話

問合せ 藤井寺市  
TEL 06（6441）0894（担当）

### 和泉市

問合せ 河南町  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 河南町保健福祉センター（かなんびあ）2階

内 容 ボランティア活動パネル展・高齢者疑似体験・点字パソコン体験・喫茶コーナー・販売コーナーほか

問合せ 河南町社会福祉協議会  
TEL 0722（933）6299

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 門真市

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月6日（日）午前10時～午後3時

場 所 和泉市社会福祉協議会

内 容 「世代をこえて、手をつなぐボランティアの輪」をキヤッチフレーズに、あいステージ、ふれあい広場、たすけあい広場、フリーマーケット、スタンプラリー、炊き出し等

問合せ 和泉市社会福祉協議会  
TEL 07225（57）0294

### 羽曳野市

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 10月28日（金）午後1時～午後4時

場 所 工コールいすみ・イベント広場（泉北鉄道・和泉中央駅）

内 容 「踏みだし、見えてきたもの」  
講師 孫崎富美子氏（地域の茶の間「和」）  
「精神の病とは」 講師 林成賢氏（医師）  
「精神保健ボランティアとは」  
講師 佐久間陽子氏（大阪ボランティア協会）  
「ボランティアアグリーブ紹介」  
さくら草の会・藤井寺パンジーの会

問合せ 和泉市社会福祉協議会  
TEL 07225（57）0294

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

### 河内町ボランティアフェスティバル

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

日 時 11月19日（土）午前10時～午後3時

場 所 羽曳野市役所別館

内 容 体験、手作り作品バザー、模擬店など

問合せ 羽曳野市  
TEL 06（6902）6453

# 大阪府内のボランティアセンター一覧

市町村名	所 在 地	電 話	FAX
<b>北 摂</b>			
池田市	563-0041 池田市満寿美町6-23	072-753-8858	072-753-3444
茨木市	567-0888 茨木市駅前4-7-55 茨木市福祉文化会館内	072-627-0086	072-627-0434
島本町	618-0022 島本町桜井3-4-1 ふれあいセンター内	075-962-5417	075-962-6325
吹田市	564-0072 吹田市出口町19-2 吹田市立総合福祉社会館内	06-6339-1210	06-6339-1202
摂津市	566-0022 摂津市三島1-1-1 摂津市役所西別館内	06-6318-1128	06-6383-9102
高槻市	569-0067 高槻市細屋町3-1-303 グリーンプラザ3号館3階	072-683-2200	072-683-2209
豊中市	561-0881 豊中市中桜塚2-28-7 豊中市立福祉会館内	06-6848-1000	06-6841-2388
豊能町	563-0101 豊能町吉川187 町立保健福祉総合施設豊悠プラザ内	072-738-5370	072-738-0524
能勢町	563-0341 能勢町宿野114	072-734-0770	072-734-2623
箕面市	562-0036 箕面市船場西1-11-35	072-749-1535	072-727-3590

<b>河 北</b>			
交野市	576-0034 交野市天野が原町5-5-1 交野市立保健福祉総合センター内	072-894-3737	072-894-3738
門真市	571-0064 門真市御堂町14-1 門真市保健福祉センター内	06-6902-6453	06-6904-1456
四條畷市	575-0054 四條畷市中野新町11-31 四條畷市立福祉コミュニティセンター内	072-878-1210	072-878-6888
大東市	574-0037 大東市新町13-13 大東市立総合福祉センター内	072-874-1082	072-874-1828
寝屋川市	572-0036 寝屋川市池田西町28-22 寝屋川市立総合センター内	072-838-0400	072-838-0166
枚方市	573-1191 枚方市新町2-1-35 ラポールひらかた内	072-841-0181	072-841-0182
守口市	570-0083 守口市京阪本通2-13-1 さつきホールもりぐち内	06-6992-2715	06-6993-0134

<b>河 南</b>			
大阪狭山市	589-0021 大阪狭山市今熊1-85 大阪狭山市福祉センター内	072-367-1761	072-366-7407
柏原市	582-0018 柏原市大県4-15-35	0729-72-6760	0729-72-6760
河南町	585-0014 河南町大字白木1387	0721-93-6299	0721-93-6550
河内長野市	586-0041 河内長野市大師町26-1	0721-65-0133	0721-65-0143
太子町	583-0991 太子町大字春日963-1 総合福祉センター内	0721-98-1311	0721-98-2111
千早赤阪村	585-0041 千早赤阪村大字水分195-1 保健センター内	0721-72-0081	0721-70-2037
富田林市	584-0037 富田林市宮甲田町9-9 富田林市総合福祉社会館内	0721-25-8200	0721-25-8230
羽曳野市	583-8585 羽曳野市誉田4-1-1 羽曳野市立総合福祉センター内	0729-58-2315	0729-58-3853
東大阪市	577-0054 東大阪市高井田元町1-2-13 東大阪市立総合福祉センター内	06-6789-5550	06-6789-5611
藤井寺市	583-0035 藤井寺市北岡1-2-8 ふれあいセンター内	0729-38-8220	0729-38-8221
松原市	580-0015 松原市新堂1-589-6 松原市立総合福祉会館内	072-333-0294	072-336-0806
八尾市	581-0018 八尾市青山町4-4-18 サポートやお内	0729-25-1045	0729-25-1161

<b>泉 州</b>			
泉大津市	595-0026 泉大津市東雲町9-15 泉大津市立総合福祉センター内	0725-23-1393	0725-23-1394
和泉市	594-0041 和泉市いぶき野5-1-7 アイ・あいロビー内	0725-57-0294	0725-57-3294
泉佐野市	598-0007 泉佐野市上町1-2-9 泉佐野市立福祉センター内	0724-64-2259	0724-62-5400
貝塚市	597-0072 貝塚市富中1-18-8 保健福祉合同センター内	0724-39-0294	0724-39-0035
岸和田市	596-0076 岸和田市野田町1-5-5 岸和田市立福祉総合センター内	0724-30-3366	0724-30-3367
熊取町	590-0451 熊取町野田1-1-8 熊取ふれあいセンター内	0724-52-6001	0724-52-2658
泉南市	590-0521 泉南市樽井1-8-47 泉南市総合福祉センター内	0724-83-0294	0724-83-0294
高石市	592-0011 高石市加茂1丁目20-12	072-261-3656	072-261-9375
田尻町	598-0091 田尻町嘉祥寺883-1	0724-66-5015	0724-66-8841
忠岡町	595-0812 忠岡町忠岡中2-16-25	0725-31-1666	0725-31-3555
阪南市	599-0292 阪南市尾崎町35-1 阪南市役所内	0724-71-5678	0724-71-7900
岬町	599-0303 岬町深日3238-24	0724-92-0633	0724-92-5701
堺市	590-0078 堀市南瓦町2-1 堀市総合福祉社会館内	072-232-5420	072-221-7409
堺ボランティア市民プラザ	590-0078 堀市南瓦町2-1 堀市総合福祉社会館内	072-226-2987	072-226-2987
南ボランティア市民プラザ	590-0105 堀市竹城台1-1-2 ショップタウン泉ヶ丘三番街1階	072-295-8250	072-295-8250
美原地区ボランティアセンター	587-0002 堀市美原町黒山782-10	072-362-3939	072-362-1798

# ボランティア・市民活動保険のごあんない

引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社

ボランティア活動中の事故に備えて ボランティア活動保険			各種イベント参加者の補償に ボランティア・市民活動行事保険			
補償内容	ボランティアがボランティア活動中に、①偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」、③ボランティア活動中に死亡し、「傷害保険」の給付対象にならない場合の「死亡見舞金」の3つの制度がセットされています。			補償内容	ボランティア団体や各種の市民団体が主催する行事の参加中に、①参加者が偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」と②主催者または参加者が第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」の2つの制度がセットされています。	
傷害部分	本人のケガ ボランティア	Bプラン 死亡・後遺障害 2,270万円 入院（1日あたり）9,000円 通院（1日あたり）6,000円 手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 特定感染症 天災	Cプラン（天災担保） 死亡・後遺障害 1,050万円 入院（1日あたり）6,000円 通院（1日あたり）4,000円 手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 補償します 補償します	傷害部分	I型（宿泊なし） 死亡 500万円 後遺障害 15～500万円 入院（1日あたり）3,000円 通院（1日あたり）2,000円 手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額	
賠償部分	対人 対物	対人、対物共通 最高 5億円	対人、対物共通 最高 5億円	賠償部分	対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円 対物 1事故あたり 最高500万円	
見死亡 見舞金	死本人の 死本人の	死亡 30万円	死亡 30万円	見死亡 見舞金	死本人の	
保険料	ボランティア1名 年間（中途加入でも同じ） 500円		700円	保険料	I型 A区分 30円 B区分 128円 C区分 251円 II型 1泊2日 248円 2泊3日 256円 3泊4日 264円 4泊5日 328円 5泊6日 336円 6泊7日 344円	
加入できる人や対象となる活動	・無償であること（交通費、食事代など除く） ・自助活動ではないこと ・活動のための会議や、往復途上も含む		加入できる人や対象となる活動	ボランティア団体や市民団体が主催する行事（スポーツ活動や自助活動も含む）		
保険有効期間	毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入の場合は受付日の翌日から)		保険有効期間	行事期間中 (開催1週間前までに受付が必要)		
補償内容	各種NPO団体等の活動に 非営利・有償活動団体保険			補償内容	移送サービス活動に 移送中事故傷害保険	
傷害部分	本人のケガ ボランティア	Aプラン 死亡 202万円 後遺障害 6～202万円 入院（1日あたり）3,000円 通院（1日あたり）2,000円 手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額	Bプラン 死亡 500万円 後遺障害 15～500万円 入院（1日あたり）3,000円 通院（1日あたり）2,000円 手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額	傷害部分	I型（車輌特定） 死亡 266.0万円 後遺障害 7.9～266.0万円 入院（1日あたり）3,000円 通院（1日あたり）2,000円 手術保険金／入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額	
賠償部分	対人 対物	1名あたり 1億円 1事故あたり 2億円	500万円	賠償部分	対人 対物 死本人の	
見死亡 見舞金	死本人の	Aプラン 4,900円		見死亡 見舞金	I型 2,000円 (車定員1名あたり) II型 2,000円 (記名利用者1名あたり)	
保険料	営利目的ではないが利用者から実費を越える報酬を得ている活動、団体		加入できる人や対象となる活動	移送サービスを実施するサービス実施主体の運転者、同乗のスタッフがその利用者		
加入できる人や対象となる活動	毎年4月1日から翌年4月1日まで (中途加入者は翌月15日～)		保険有効期間	毎年4月1日から翌年4月1日まで (中途加入者は翌月15日～)		

ご加入の際、内容等につきましてはパンフレットをご覧いただくとともに市町村の社会福祉協議会にお申し込みください



三井住友海上火災保険株式会社

ホームページ [www.ms-ins.com](http://www.ms-ins.com)

大阪金融公務部 第四課 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9  
TEL.06-6233-1536 FAX.06-6233-0204